

自殺に関する 表現の指針



国際自殺予防学会
International Association
for Suicide Prevention

自殺に関する表現には、避けるべき言い回しがあります。このガイドラインでは、避けるべき言い回しの例と、推奨される言い回しの例を示し、自殺とその複雑さについて認識と理解を深めながら、避けるべき言い回しが使用されるリスクを減らすことを目的としています。

避けるべき言い回し	奨励される言い回し
‘committed suicide’ or ‘commit suicide’	‘died by suicide’ or ‘took their own life’ or ‘suicide death’
自殺を犯した、自殺を犯す	自殺で亡くなった、自ら命を絶った、自殺による死
‘unsuccessful suicide’ or ‘failed suicide’	‘suicide attempt’ or ‘non-fatal suicide attempt’
自殺の不成功、自殺の失敗	自殺未遂、非致命的な自殺企図
‘successful suicide attempt’	‘A fatal suicide attempt’
自殺の成功	致命的な自殺企図
‘suicide victim’	‘Those who die by suicide’
自殺の犠牲者	自殺で亡くなった人/自殺者

自殺の手段や場所の詳細を共有しないでください。

研究によると、自殺の手段や場所に関する記述が公開されることにより、自殺行為の増加や、自殺の手段・場所を模倣するケースが増加する可能性が示されています。

避けるべき表現	奨励される表現
自殺の手段や場所に関する詳細	自殺の手段や場所の詳細は記載しないでください。必要に応じ、具体的な詳細の代わりに一般的な用語を使用してください。
自殺の手段や場所を示す画像	自殺の手段や場所を示す写真、イラスト、図、動画を掲載しないでください。

コロナ禍における責任ある自殺報道: <https://youtu.be/gozDLnnuo7A>
[Reporting on Suicide During the COVID-19 Pandemic](#), IASP & SAVE
サポートが必要な場合には、IASPウェブサイトのオンラインツールをご利用ください。
‘Find a Helpline’: https://www.iasp.info/resources/Crisis_Centres/

